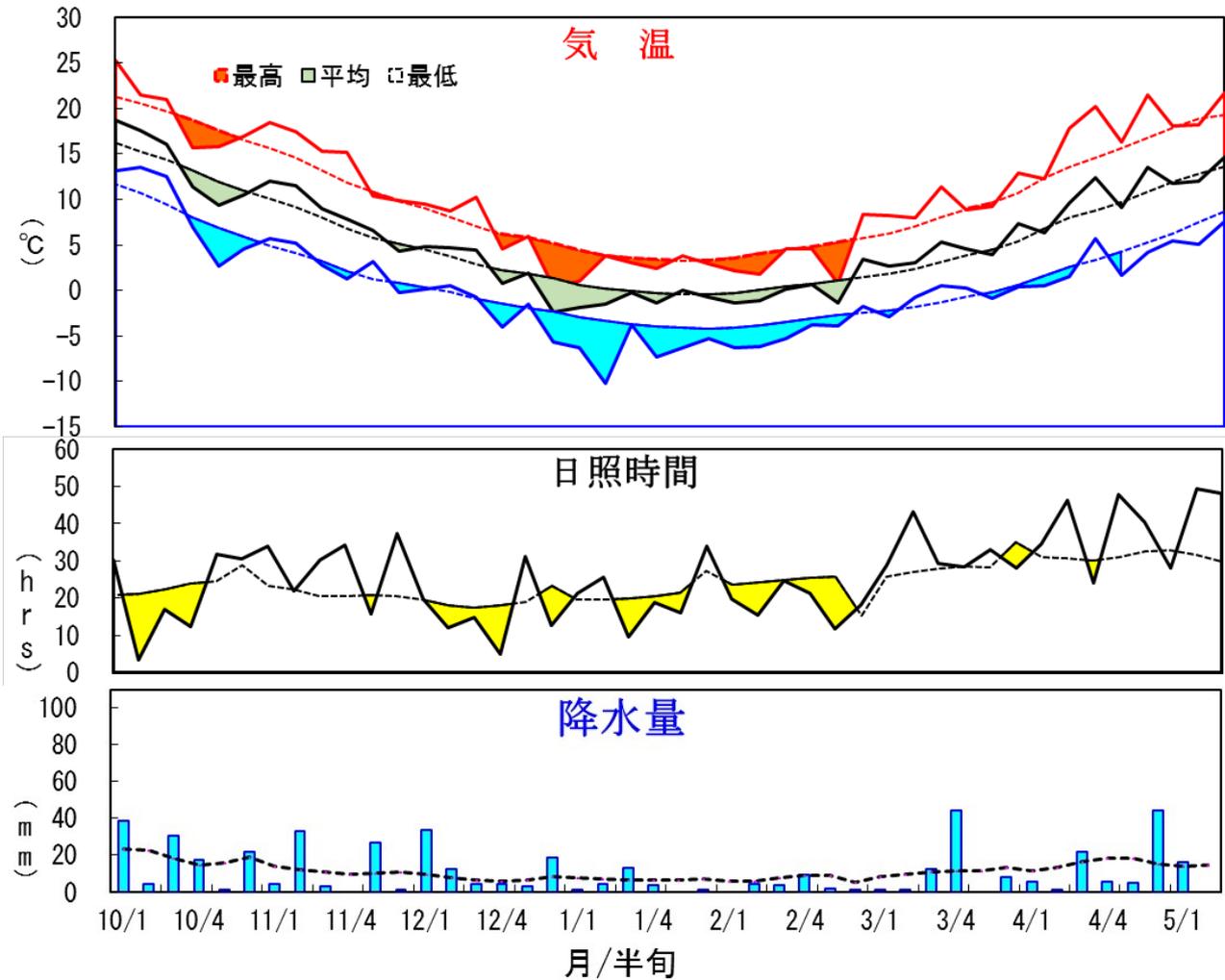


麦作情報第5号

令和4年 5月16日：JA全農みやぎ

～南西諸島は早めに梅雨入り！収穫準備は早めに！！～

1 気象経過



◆東北地方の1か月予報【5月14日～6月13日までの天候見通し 気象庁HPより】

- ・東北地方における向こう1か月の天気は、数日の周期で変わる。気温は、1週目、2週目とも平年並の確率50%。
- ・気温は、高い確率40%、平年並み若しくは低い確率30%。
- ・降水量は、多い若しくは少ない確率30%、平年並みの確率40%。
- ・日照時間は、多い若しくは少ない確率30%、平年並みの確率40%。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)〉

【気温】東北地方	30	30	40
【降水量】東北地方	30	40	30
【日照時間】東北地方	30	40	30

2 生育状況

(1) 古川農業試験場内作況試験ほ場 (5月11日現在)

- ・大麦「シュンライ」の出穂期は、10月中旬播種では平年より2日遅く、前年より4日遅かった。開花期は平年より3日遅く、前年より5日遅かった。
- ・大麦「ミノリムギ」の出穂期は、10月中旬播種では平年より3日遅く、前年より2日遅かった。開花期は平年より1日遅く、前年並みであった。
- ・小麦「シラネコムギ」の出穂期は、10月中旬播種では平年及び前年より3日遅かった。5月11日現在、開花期には達していない。
- ・小麦「夏黄金」の出穂期は、10月下旬播種では前年より2日遅かった。5月11日現在、開花期には達していない。

区分	品 種 名	播種区分	出 穂 期				開 花 期				成熟期
			本年	前年	平年	平年差	本年	前年	平年	平年差	本年見込み
小粒 大麦	シュンライ	中旬播種	4/27	4/23	4/25	2	5/4	4/29	5/1	3	6/6~6/11
		下旬播種	5/1	4/28	-	-	5/6	5/5	-	-	6/10~6/15
	ミノリムギ	中旬播種	5/1	4/29	4/28	3	5/5	5/5	5/4	1	6/10~6/15
		下旬播種	5/4	5/3	-	-	5/7	5/7	-	-	6/13~6/18
小麦	シラネコムギ	中旬播種	5/7	5/4	5/4	3		5/15	5/14	-	6/21~6/26
		下旬播種	5/8	5/8	-	-		5/16	-	-	6/22~6/27
	夏 黄 金	中旬播種	5/8	5/4	-	-		5/14	-	-	6/22~6/27
		下旬播種	5/9	5/7	-	-		5/15	-	-	6/23~6/28

注) ・宮城県古川農業試験場 麦類作況試験データ
 ・播種日：中旬播種=10/21, 下旬播種=11/1
 ・成熟期(予想)：登熟期間を大麦で出穂後40~45日, 小麦で出穂後45~50日として算出。
 ・平年値：平成25年播種を除く過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。
 ・「夏黄金」の中旬播種区は、平成28年播種から供試のため平年値はない。

3 今後の技術対策

(1) 排水対策

- ・これから登熟が進んでいくが、排水が悪いと湿害による登熟不良が顕著になるので、明渠が効いているか確認し、傷んでいるところは早めに手直しを行い、排水対策に万全を期する。

(2) 赤かび病の防除

- ・赤かび病は、開花期前後にかけて降雨が続き、気温が20~27℃の場合に発生が多くなる。
- ・防除適期は、1回目が開花始期~開花期, 2回目がその7~10日後で、降雨が続く場合は追加防除を検討する。
- ・南西諸島では、例年より早く「梅雨入り」している。天気を見ながら適期防除を徹底する。

(3) 収穫の準備

- ・成熟期の判断基準は、「茎葉及び穂首部が黄化し、粒はほぼロウぐらいの硬さに達した日」とされており、一般的には大麦では出穂後約40日~45日, 小麦では45日~50日である。
- ・収穫適期は、成熟期から約3~4日後で、穀粒水分30%以下が望ましいとされているが、降雨が見込まれる場合には、作業を早める必要がある。
- ・生育の進んでいる大麦では、6月5日~10日頃には成熟期に達すると見込まれる。